



THE ROTARY CLUB OF SADOWARA WEEKLY BULLETIN

佐土原ロータリークラブ週報

友達になろう

BE A FRIEND



佐土原ロータリークラブ

例会日 毎週金曜日 (12:30~13:30)

例会場 ホテル神宮寺 TEL 0985-73-0015

事務所 〒 880-02 佐土原町大字下田島9883番地1
TEL 0985-73-0015

1994. 7. 22 (金) 第325回例会

1. 点 鐘
2. ロータリーソング「手に手つないで」
3. 食 事
4. 会長の時間
5. 幹事報告
6. 各委員会報告
7. 会員卓話 伊 東 忠 寛 君
8. 点 鐘

第324回例会報告 (1994. 7. 8)

会長の時間 池田 仁 志

皆さん今晚は、本日は第324回例会です。連日の炎暑で降雨が待ち遠しいのですが、なかなか降りそうにもありません。

さて、今日は新入会員の歓迎会と、新旧役員の慰労及び門出を祝福する懇親会が予定されていますので、親睦委員会委員長に今後の進行をお願いしたいと思います。

幹事報告 藤 堂 孝 一

本日は報告・連絡事項はありません。

出席委員会より 委員長 神宮寺 利 夫

会 員 数	25名
出 席 者 数	25名
出 席 率	100%

親睦委員会より 委員長 森 田 邦 宏

では、前年度役員の皆さんへの感謝の意をこめまして、代表であられる正岡前会長にお礼の言葉を申し上げます。

『正岡文有氏宛』

あなたは佐土原ロータリークラブ会長として前年度一年間、たゆまないご努力と情熱をもって私たちを引っ張っていただきました。

また、正岡前会長の優れた指導力と統率力によりまして、佐土原ロータリークラブも、画期的な会員増強をはじめ幾多の奉仕活動など輝かしい実績を築き上げることができました。

会員一同心から感謝と御礼を申し上げます。

これからは池田会長のもとに全会員一丸となって、佐土原ロータリークラブのさらなる発展を期しまして努力向上して行くことをお約束申し上げます。

今後とも私どもロータリアンのために、ご指導、ご教示を賜りますようお願い申し上げます。

ここに、ささやかではございますが、心からの感謝の気持ちをこめて記念品を贈呈させていただきます。

本当にありがとうございました。

平成6年7月8日

佐土原ロータリークラブ会員一同

代表 徳 丸 彰 一

出席者全員の大きな拍手で、正岡前会長のご功績を称えました。

正岡前会長のご挨拶

ただいまは身に余る感謝のお言葉をいただき、そのうえ記念品まで頂戴いたしまして、本当に有り難うございました。

非力な私を皆さんがご支援していただき、なんとか一年間会長を務めることができましたことを、心から感謝申し上げます。

新年度は池田会長のもと、さらに皆さんにご協力を賜りまして、ますます佐土原ロータリークラブが発展しますよう祈念いたします。

次に、新会員宮原健樹君・中武靖雄君・恒吉正志君に一言ご挨拶をいただきたいと思ひます。

本日は私どものために歓迎の宴を開いていただき、心から感謝いたします。
佐土原ロータリークラブの一員として一生懸命頑張りたいと思ひます。
宮原健樹

歓迎会をしていただき有り難うございます。もともとアルコールは好きな方ですが、目下ドクターストップがかかっていますので残念です。今後ともどうぞよろしくお願い申し上げます。
中武靖雄

歓迎会を感謝いたします。例会出席が今日で4回目になると思ひますが、ロータリーの良さが分かり、ロータリーを楽しむようになりたいと思ひています。
恒吉正志

◇ ◇ ◇ ◇ ◇ ◇

神宮寺ホテルの心尽くしのお料理と、田村君の特製生ビール出張サービスもありまして、懇親会は大いに盛り上がり、恒例のカラオケ、手品、徳丸流舞踊と、夜の更けるのも忘れるほどでした。

微力でもよいから、世のため人のため何かをしよう。あせらずに、休まずに。佐土原RC！

◎今年度の抱負を一言

副会長 児玉武文
今年度で4期副会長を務めることになりました。いろいろとご多忙な池田会長を補佐して、特にピンチヒッターとして、例会における15分間の会長代理の役を十分果たしたいと考えています。

岩切正司
RI会長のテーマ、「友達になろう」の実践と、出席率向上のために、精一杯頑張ろうと思ひています。

ビジタースピーチ

西都RC 尾崎公男君
先日、米の問題で東北・北海道を視察して来ましたが、新潟県では、農業後継者の調査をしたところ、たった1名の希望者しかいなかったということでした。

米どころ新潟県でさえ、そのような実態であるということは、大変な時代になったものだと痛感しました。

今後の日本の農業経営の合理化とともに、外国米輸入の問題も真剣に考えなければならぬ時が来ていると思ひます。

中国の人口は約15億人ですが、そのうち農業従事者は8億人と言われ、米の生産量は年間1億8千万トンと推定されています。稲作の方法は、従前わが国で行われていた手作業が殆どです。田植え、草取り、稲刈りまですべて人力です。

刈り取った稲は太陽光で乾燥させます。いわゆる「掛け干し米」で、赤外線乾燥の米とは香りや旨味が違います。中国米は粒は少し小さいけれども、香りとかねばりは日本米より良いようです。

中国米の輸入には「並行輸入制度」がとられています。一人年間100Kg、5人家族であれば500Kgまで輸入できます。

私は佐土原ロータリークラブが大好きです。いつも親切に接して下さいます皆さんに心から感謝しております。